

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE京都-新築 (2011年版) | 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2011(v.1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	京都会館	階数	地上6階 地下2階
建設地	京都府京都市左京区岡崎最勝寺町	構造	SRC造
用途地域	第2種住居地域/岡崎文化・交流地	平均居住人員	1,000 人
気候区分	地域区分Ⅲ	年間使用時間	2,880 時間/年
建物用途	集会所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年7月 予定	評価の実施日	2013年9月17日
敷地面積	13,671 m ²	作成者	北村潤
建築面積	8,056 m ²	確認日	2013年9月17日
延床面積	20,998 m ²	確認者	北村潤



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 4.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆ 100%超: ☆

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+オフサイト手法

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 4.1

Q1 室内環境 Q1のスコア = 4.2

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.7

Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア = 4.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 4.2

LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.5

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 4.4

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.5

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>近代建築として評価の高い京都会館を可能な限り生かしつつ、舞台等の機能を改善し、市民をはじめとした様々な人々に、継続して利用され続ける公共施設として再整備を行う。空間構成、外観意匠、景観構成要素としての意義、材料等を継承し、機能の向上をはかりつつも歴史的な建築価値を損なうことのないような計画としている。</p>	<p>その他</p> <p>特になし</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>大面積を占める舞台床は地域産木材を利用し、客席も内装制限で可能な部分は天然木を中心とした内装としている。大ホールと中ホールは一部吹き抜けをもつ中庭に面した開放的な共通ロビーにより、空間的にも機能的にも繋がれた</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>建物内はバリアフリー化を図っているが、増築部分だけでなく既存部分も可能な部分については努力義務内容について取り組み、誰もが利用しやすい施設としてのユニバーサルデザインを目指している。</p>	<p>Q3 室外環境 (敷地内)</p> <p>大庇や手摺り、バルコニーによって形成される外観ディテールを継承し、周辺と調和のとれた意匠を展開している。開放された東山を望むことのできる中庭を中心に据えた空</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>太陽光発電、太陽熱利用、雨水利用、屋上緑化など、自然エネルギーを積極的に活用した計画としている。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>環境対応型塗装や光触媒コーティングなど防汚性に配慮した材料選定を行うとともに、既存部分の外装材に合わせることで周辺環境と調和した岡崎らしい景観に配慮している。節水型器具の採用やリサイクル材の利用により、限られた資源を有効に活用している。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>既存の街路樹や低木など残せる緑地は極力残し、全体としての地表面対策面積率をに配慮するとともに周辺温熱環境の保全を図っている。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される